

会 議 録

会議名称	第4期幸区区民会議 第2回専門部会 暮らしの安全部会
日 時	平成24年9月26日(水) 18時30分～20時20分
会 場	幸区役所 プレハブ会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ●区民会議委員(五十音順) 石原陽子委員(副部会長)、押山兼二委員(部会長)、小泉実意子委員、近藤多恵委員、鈴木奈美枝委員、西野恭一委員、昼間政治委員、三堀八郎委員 ●事務局 幸区役所まちづくり推進部企画課 佐々木智子課長、加藤剛史係長、菅野和彦職員、危機管理担当 平川典秀課長、大村康博係長、株式会社地域計画連合 桑原佐知子研究員
欠席者	神谷厚子委員
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ●議事次第 ●資料1 幸区の防災に関する取組について ●資料2 第4期幸区区民会議における「暮らしの安全部会」の報告イメージについて(案) ●資料3 第4期幸区区民会議平成24年度スケジュール
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災に関する区の取組について 2 取組内容の検討について 3 第2回第4期幸区区民会議での報告内容について 4 その他
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ●調査審議テーマの方向性は以下の3点とする。 <ol style="list-style-type: none"> 1 自助の重要性を踏まえ、自助に関する検討 2 エリア別防災マップに関する検討 3 中学生を巻き込んだ防災訓練等取組の検討 ●第2回第4期幸区区民会議での報告は、押山部会長が行う。
会議の内容 及び 主な発言	<p>1 防災に関する区の取組について 資料1に基づき、幸区役所危機管理担当より説明があり、それを踏まえ審議を行った。</p> <p>【主な意見・質疑応答】 (防災体制の実態について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●区内の防災体制の実態は。3.11の連絡系統はどうだったのか。 →(幸区) <ul style="list-style-type: none"> ●3.11については災害対策本部が立ち上がったが、区内に大きな被害はなかったため、本部から避難所開設の指示は出さなかった。避難所開設のパターンは、区の指示、自主防災組織によるもの、避難所運営会議によるものがある。 (避難所運営について) ●区内の避難所運営会議の活動状況はどうか。 →(幸区) <ul style="list-style-type: none"> ●23すべての避難所運営会議が開設されている。そのうち8箇所は継続的に活動しており、15箇所については活動が停滞しているが、今年度再開する予定である。 ●災害時に中学校から避難所である小学校まで物資を運ぶ余裕がない。区内小学校への防災倉庫を一斉に設置してほしい。また、倉庫が建物の避難所の上層階にあると物資の運搬が困難である。低層階への設置が好ましい。 →(幸区) <ul style="list-style-type: none"> ●小学校の空き教室を倉庫として活用しているため、学校によっては上層階となっている。防災倉庫の小学校への設置は順次進めているところである。

●大型マンションがあるところとそうでないところでは、一指定避難所地域における人口に偏りがある。

→ (幸区)

●避難所は家が住めない状態の場合に避難する場所であり、各自が3日分の備えをするようお願いしているところである。

●避難所のスペースが足りない場合の代替案として、学校のグラウンドへのテントの設置などは検討しているのか。また、緑道等学校以外のスペースは検討しているのか。他自治体では、防災ベンチなどがあり、災害時にトイレとして使えるようになっている。

→ (幸区)

●グラウンドは物資の受入等に使用するため、テントを全面的に張ることはできない。防災ベンチの設置などは幸区でも一部の公園で始めている。

(その他)

●一時 (いつとき) 避難場所は指定されているのか。また、何らかの掲示はあるのか。

→ (幸区)

●一時 (いつとき) 避難場所は市が指定するものではなく、一時的な避難場所として各家庭や、町内会・自治会ごとに決めていただくものである。

2 取組内容の検討について

取組内容の検討に向け、審議を行った。

【主な意見・質疑応答】

(自助について)

●大規模災害が起きた際、防災組織は何もできない。まずは自分の安全を確保することが重要。備蓄も自らの責任で行う。

●「自宅に被害がなければ自宅にとどまる」という広報を強化してはどうか。

●災害発生から3日間を自分で生き延びるための、災害時の情報伝達の仕組みを検討すべき。行政が車で地域を回ってライフラインなどの災害情報を伝達するなど考えられる。

(地区防災マップについて)

●川崎市や幸区の防災マップは全戸配布されているのか。中学校区くらいでないと(情報が)わからない。中学校区単位の地域防災マップを作成し、それを全戸配布すると有益ではないか。

→ (幸区)

●防災マップは全戸配布していない。

(学校を中心とした地域防災力について)

●町内会・自治会による防災活動の課題として、若い人の不在がある。若い人の参加促進はできないか。

→ (幸区)

●中学生は災害時に、大人と同じように戦力として期待されている。中学生を軸にすると良い。学校と協力して取り組めば可能ではないか。

3 第2回第4期幸区区民会議での報告内容について

報告は、押山部会長が行うことになった。

4 その他

(1) 次回区民会議全体会議、専門部会の日程確認について

●第4期区民会議第1回企画運営部会を平成24年10月29日(月)18時30分から開催

●第2回第4期幸区区民会議の日程の候補日について確認した。

●次回の「暮らしの安全部会」は平成24年12月14日(金)18時30分から開催

(2) 「新総合計画『川崎再生フロンティアプラン』第3期実行計画の平成23年度実施結果についての意見募集」について

●事務局から意見募集の内容について説明を行った。

以 上